

2022Japan National Team Report ”選手”



J.O.D.A.
JAPAN OPTIMIST
DINGHY ASSOCIATION 3320

報告者	所属クラブ ; 横浜ジュニアヨットクラブ 学年 中3 氏名 鈴木 しおん		
大会名	アジアオセアニア選手権		
開催地	ムンバイ		
大会期間	12/13~20		
セールNo	JPN 3320	最終順位	総合11位/アジア9位 女子4位/アジア女子3位

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後に、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
 1. このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい
 2. 他国のOP艇を接近して撮影することを禁止します

気温、水温、ウエアについて	日本の真夏とほぼ変わりなかったです。 日中は毎日30度を超えていました。 水温は25度前後で冷たくはなかったです。なので、毎日ラッシュ、水着で、最終日はいつも以上に暑く感じたのでTシャツで海に出ていました。
海面(湖面)の特徴や風の傾向	練習の時はハーバー(陸)の方向から吹いていて(北~北東)、レース期間中は逆に海から吹いて来る風でした。(南西) 陸風の時は、目の前の建物の影響で、不規則なシフトがみられました。そのため常にリフトとブローを見ている必要がありました。 海風の時は、左右の建物の影響で右にしかブローが降りて来ないわかりやすいシフトでした。
セッティングで注意したこと	日本の時とあまり変えてませんが、軽風シリーズだったのでラフのテンションを意識していたのと真ん中のガラミを他よりも緩めてパワーを少しでも出そうとしていました。 セールは出来るだけ深しました。
セーリングで注意したこと	トップスピードが出せるように意識していました。 1番嫌だったのはメンタルで負ける事でした。やっとな異国の海で海外の選手とレースが出来るという緊張と湧いてくる思いをできるだけ抑えていつも通りの走りができるようにしました。

海上で練習したこと	9人での走り合わせやスピード練習、UAEの3人を含めての練習、USAの運営のプラクティスで練習していました。
-----------	--

実際のスベリはどうでしたか？	悪くはなかったです。 ですが、あまりに軽風シリーズだったので日本では感じる事のなかった体重でのスピード負けを感じる場面がインド滞在中多々ありました。 それ以外は特に周りに劣っている印象はなかったです。
スタートはどうでしたか？	よかったです。毎レース、ルーティンを欠かさず行うことで一線から出ることができました。 ですが、スタートのレベルは高くはなかったのだからちゃんとラインを見ていたらトップでラインをきれました。なのでダブルタックをもっとして上の船にプレッシャーを与えればよかったと今更ながら思いました。 また、堤悠人さんからTPEはワールドでリコール常習犯だったと聞きました。なのでスタート時は巻き込まれないようTPEがどこにいるか常に確認するようにしていました。
コース戦略はどうでしたか？	悪くはなかったです。レース期間中の海面(南西の風)を上から見ると主に右のブローが濃く左は薄い、そして左と右の境目にプランクが綺麗に出来ているのがよく分かりました。この通り、主に右が有利でしたが、左有利だったときどこまで伸ばすのか右の集団はどこまで伸ばしてどれだけ伸びて来ているのかをよく見ていました。
自分より上位の選手との違いは？	吹っ切れているなと思いました。 左が有利に見えたとしても、左が伸びる可能性を切り捨ててほぼ全員右につっ込んでいくという印象でした。 自分はそのとき有利だと思った方でコースを展開したいと考えていたので、海面の特徴重視でレースしている選手を見てそこが違うなと思いました。
国内の練習で役立ったこと	スタートとダウンウィンドです。スタートは出国直前にあった、全日本でスタートの課題を見つけてからスタートに対する意識を変えたことで、苦手だったスタートを今回克服出来たと思います。 また、ダウンウィンドは元々苦手だったので、トリムでうまくスピードに乗れるようにしていました。その結果、微風でもワールドで上位だった選手を抜く事ができた場面もあったので、そこは良かったです。
国内の練習で足りなかったこと	二上のコース取です。行きたいと思った方のゲートに誰も行ってなかったのが自信が持てず、みんなと同じ方に行ったら私が行きたかった方に行ったUSA23108(USA女子)とJPN3375が大当たりしていてとても悔しかったです。
印象に残った外国選手は？	THA1243 Chantip(優勝) 彼は右へ左へ行きすぎず、私にとって1番納得のいくコースを引いていました。それであの海面で勝つってすごいかっこいいなと思いました。 THA1495 Prin 右に突っ込んでいたので印象深かったです。 SGP4508 Ethan(準優勝) 微風の走りが異次元でした。
行く前と、行ってからで違ったことはありましたか。	世界への考え方です。 海外の選手と走ってみて自分ではそこまで大きな壁は感じませんでしたが、だからこそ一つの小さな失敗が大きな荷になってしまう、そう感じました。

今後の課題と目標は？	国外レースでも国内でやってきたことを100%出せるよう常に本番のように練習していきたいと思います。 次は世界の表彰台に乗ってみせます。
JODAへの要望	ないです。 今までの経験を活かし、ユースの世界で世界へ羽ばたけるよう頑張っていきます。 長い間ありがとうございました。
その他	応援ありがとうございました。

ご協力ありがとうございました

JODA 海外派遣委員会